

令和8年9月17日

6年生保護者の皆様へ

刈谷市立双葉小学校
校長 濱口 留美

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月23日(木)に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、双葉小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	・満足できる状況である。よく定着している。 ・観点別では、「知識・技能」が高い。 ・「情報の扱い方に関する事項」特に、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報の関係について理解することがよくできている。 ・「読むこと」特に、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることがよくできている。
算数	・満足できる状況である。よく定着している。 ・観点別では「思考・判断・表現」が高い。 ・「図形」「変化と関係」がよく身に付いている。特に、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことがよくできている。
児童 質問紙	・朝食を毎日食べたり、同じ時刻に起床できたりしている児童が多い。 ・学校の授業時間以外に読書をしたり、新聞を読んだりしている児童がやや多い。 ・「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけない」という児童の割合が高く、人を思う心が育っていると考ええる。 ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると答えている児童の割合がやや低い。 ・ICT機器を使って文章やプレゼンテーションを作成したり、図、表、グラフ、思考ツールを使ってまとめたりすることができると答えている児童の割合がやや低い。

※ 全国・県平均に比べ無回答率が低く、前向きに取り組もうとする児童が多い